

研究協力をお願い

昭和医科大学スポーツ運動科学研究所では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大学ラグビー選手における頸椎アライメントと肩関節運動可動域（外転・肩甲骨回旋）との関係

1．研究の対象および研究対象期間

2019 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに昭和医科大学スポーツ運動科学研究所において、昭和医科大学横浜市北部病院でメディカルチェックを受けた大学ラグビー選手を対象としています。

2．研究目的・方法

ラグビーはコンタクトの激しいスポーツであり、脳振盪や頸椎捻挫などの頭頸部外傷が高頻度に発生します。これらの外傷は、選手生命を脅かすばかりでなく、日常生活にも重大な影響を及ぼす可能性があるため、予防対策が不可欠であります。外傷の発生機転としては、「スクラム」や「タックル」といったプレー中に、頸部が屈曲・側屈・回旋などの強制的な運動を受けることが主な要因とされています。本研究の目的は、大学ラグビー選手を対象に頸椎アライメントと肩関節運動可動域（上腕骨外転角度および肩甲骨回旋角度）との関係性を明らかにすることです。これにより、頸椎アライメントの評価が、肩関節運動可動域制限の予防的介入に役立つ評価指標となる可能性を検討することです。昭和医科大学スポーツ運動科学研究所において昭和医科大学北部病院でメディカルチェックを受けた方の診療録情報を用いて本研究を実施いたします。

3．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

2019 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに昭和医科大学スポーツ運動科学研究所において、昭和医科大学横浜市北部病院でメディカルチェックを行った大学ラグビー選手の背景（年齢、性別、身長、体重、利き手、競技歴）およびメディカルチェックデータ（Inbody 計測データ、X 線画像、MRI 画像）を調査項目とします。

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者 昭和医科大学 大学院保健医療学研究科 橘高 大介

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院 放射線技術部 氏名：橘高 大介

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7476

研究責任者：橘高 大介